



社協だより

社会福祉法人 階上町社会福祉協議会



第37回階上町社会福祉大会開催

～社会福祉の貢献 26名4団体 晴れの受賞～

11月27日、ハートフルプラザにおいて、町民の皆様や福祉関係者の方々など約230名が一堂に会し町社会福祉大会が開催されました。認知症の人と家族の会青森県支部 世話人代表の石戸育子氏より「ともに生き、支え合うまちづくりのために」と題しご講演をいただいた後、町内全小中学校をボランティア推進校として指定し取り組まれている、地域でのボランティア活動や福祉体験について、今年度は赤保内小学校と道仏中学校の児童生徒から発表していただきました。

大会式典では、永年にわたり地域福祉活動の推進にご尽力された社会福祉関係者、高額寄付者及び高額物品寄付者、社会福祉作文入選者への表彰や、今年度の社会福祉作文で最優秀賞に選ばれた後藤桜子さん(赤保内小5年)と平島峻登さん(道仏中3年)の作文発表が行われました。

また、障がい福祉サービス事業所ホープフルのぎく園利用者の作品展示即売、町内福祉団体の取り組みや活動紹介等の展示も行われました。

受賞、おめでとうございます。(敬称略・順不同)

名誉大会長伝達

- ・全国社会福祉協議会長表彰
平野悦子

- ・青森県社会福祉大会会長表彰
郷州 満 山崎育子

- ・青森県共同募金会長表彰
上重一男

名誉大会長授与

- ・民生委員児童委員永年勤続者
沼山一子

- ・福祉団体役職員等永年勤続者

- 上重一男(町社協評議員) 下野秀男(町身障福祉会役員)
- 坂井幾子(町在宅介護者の会役員) 久保沢洋子(町在宅介護者の会役員)
- 中村和子(町赤十字奉仕団役員)

大会長授与

《感謝の部》

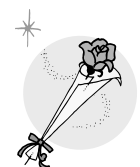
- ・高額寄付者(5万円以上寄付者)、高額物品寄付者

- 野沢直子 信田テイ 中田玲子 桑原一夫 河内宏心
- 花美流臥牛会 花美流律舞会 ボランティアサークルけやき (特別表彰)

《表彰の部》

- ・平成27年度階上町社会福祉作文入選者

- 最優秀 後藤桜子(赤保内小5年) 平島峻登(道仏中3年)
- 優秀 中村咲都希(大蛇小5年)
- 佳作 鈴木すみれ(赤保内小4年) 引敷林ほのか(赤保内小4年)
- 佐々木さくら(赤保内小5年) 石川史織(道仏小6年)
- 平島 平(小舟渡小6年) 河原木香乃(道仏中1年)
- 秋庭杏実(階上中2年)



表彰を受ける平野悦子さん



講師の石戸育子氏



赤保内小学校によるボランティア推進校活動発表



平成27年度 チャリティバザー寄付者(敬称略・順不同)



地区名	寄付者名
石 鉢	沼田令子
蒼 前	小室行弘、高橋久造、前田雅之、関野広行、菊池聖貢、加間貞男、波田野守、工藤智弘、漆田義輝、稲塚修一郎、斉藤勇一、木村秀樹、大下唯夫、西館節、山内良子、大下玲子、鹿原チヨ、大平すみ子、沼山一子、中村和子
野 場 中	上重一男、大谷地義雄、荒谷豊、高橋茂男、野辺地道雄、山田慎雄、成田光男、齋藤京子、荒谷フミ、馬場扶瑳江、細越明子、佐々木純子、吉井ユウキ
角 柄 折	松川純悦、正部家佑介、松川金次郎、加藤千鶴子、谷川満恵、堀切タマ
金 山 沢	上勉、上正次、堀畑誠一、畑中勇、佐藤幸一、伊藤昭一郎、畑中チセ子、畑中順子、伊藤トシ、磯谷みね、佐々木孝
田 代	内城君子、戸草内チヨ、山田ときえ、水合千枝
晴 山 沢	根岸忍、荻ノ沢ゆり子
平 内	大前典男、鳩恵子、南ミサオ
鳥 屋 部	小沢勝、木村ツセ、伊藤トク、房間コト、伊藤ソサ
赤 保 内	奥山能久、東山正、佐藤義臣、野沢輝美、中屋敷京子
耳ヶ吠西	吉田春泰、中城功、十文字康洋、田中綾子、木沢テル、田端江利子、小松サチ、小野寺美代子
耳ヶ吠東	西田和雄、飯干温信、三浦利雄、藤谷保人、葛林正、山守哲也、長根敏彦、吉内正、荻原俊久、中村光史、水溜良洋、山道哲也、山田百子、山崎ムツ、上野友子、松崎光子、田子節子、留目慶子、小清水ユリ、大野静子
荒 谷	笹山一夫、荒谷隆、境勝男、境新吉、境光雄、荒谷憲輝、荒谷恵子、畑中優子
大 蛇	中田兼雄、三浦隆夫、前野彦松、西村勝憲、高橋敏夫、種市トシ、中田牧子
追 越	中島豊美、中島純一、松橋竹子
櫛	日向登美男、北城幸男、浜谷幸夫、木村喜代美、糸坪喜久江、久保和子、浜谷いち、浜谷英子、櫛テツ子、浜谷恵子
駅 前	寅谷正美、守政美、南上義雄、南上邦子、橋場悦子、寅谷玲子、寅谷チエ、寅谷恵美子、高清水栄子、竹本肥子、松橋たつ、濱浦すみ子、嶋守つよ
道 仏	坂博史、桑木勝志、高山貞子、石沢久子
小 舟 渡	下野秀男、東山京子、下野明美、下野禮知子、下館ミチエ、下野京子、岩城恵子、濱浦禎子、森由美子、佐藤紀美子、重文字春枝、藤田テイ子、佐京勝江
町 外 団 体	館岡房江、川浪孝雄、信田テイ、森サチ子、森範子 陶芸教室、荒谷運送(有)

**大盛況！
チャリティバザー**

十月三十一日、十一月一日の二日間、ボランティアサークルけやき主催のチャリティバザーが町民文化祭に併催し開催されました。

食器類やタオル、日用雑貨などを町内外からお寄せいただき、午前九時の開店とともに多く

の方々に、来場いただきました。二日間での売上金は二九七、五八五円となり、必要経費を差し引き金額町の社会福祉活動費として社協へご寄付いただきました。

ご来場並びに物品寄付にご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。本紙上をもってお礼にかえさせていただきます。



有料広告募集！

広報誌「社協だより」(毎月発行)に掲載する有料広告を募集しています。事業主の皆様の事業PRの媒体としては是非ご活用ください。

(広告)

ご相談下さい(相談料無料)

遺言書、相続、法人許認可、契約書 など

中城行政書士事務所
行政書士 中城 司

住所:階上町大字道仏字耳ヶ吠32-21 電話番号 0178-38-9352
受付時間:午前9時～午後6時 ※土曜・日曜・祝日 応相談

あたたかいご寄付 ありがとうございました

○ボランティアサークルけやき 様
金 286,293円

○青森県市町村職員年金者連盟
三八支部長 鈴木孝義 様
金 10,000円



ボランティアサークルけやき様(左)



QRコード

編集発行:社会福祉法人 階上町社会福祉協議会 住所:階上町大字道仏字天当平1-182 ハートフルプラザ・はしかみ内
☎0178-88-3067 FAX 88-3069 E-mail:hashikami-shakyo@citrus.ocn.ne.jp ホームページ:http://www.shakyo.or.jp/hp/220/

この広報誌は、4,600部作成し、印刷経費は1部あたり15.97円です。(県共同募金会から配分を受けて発行しております。)

社会福祉作文入選作品

第三十六回社会福祉作文に、今年は四十八編の応募をいただき、審査会において十編の入選作品「最優秀」編（優秀二編、佳作七編）が決まりました。

その中から最優秀の作品をご紹介します。

【最優秀】

「おばさんが教えてくれたボランティア」

赤保内小五年 後藤 桜子



先日、お母さんの友達の中学校の先生が、その中学校で行われているボランティアの話をしてくれました。その中学校では、東日本大震災後、被災地を訪れ、そこで生活する人々の様子を実際に自分の目で見て、様々なボランティア活動を行っているそうです。その話を聞いても、わたしはあまりボランティアのことがよく分からなかった。辞典を引いてみましたが、辞典には、「自分からずさんで無料で協力する人」と書いてありました。でも、何となくまだよく分からなかった。お母さんに聞いて

みました。すると、お母さんは「夏休みに仙台に行くんだから、その時、仙台のおばさんに聞いてみたら。」

と、言いました。おばさんは、自分達家族も被災したけれど、時間を見つけて、ボランティアをしていたのです。

おばさんは、日本中から集まった支援物資を、それらが必要とする避難施設に配布するために分類したり保管したりする仕事をしていました。おばさんは、「自分も被害を受けたけど、もっと困っている人がたくさんいる。その人達を少しでも助けたい。」と、思っていたそうです。そんな時、ボランティア活動を始めたのは、近くの市民センターで、「支援物資の仕分け」のボランティアを募集しているという情報が友人から入り、その友人に「手伝って下さい。」と言われたのが、きっかけでした。

活動をしていておばさんが大変だったのは、たくさんの支援物資に囲まれたせまい空間での仕分け作業だったこと。暑い時には汗まみれ

になって、作業が終わるとたくさんになりました。それでもボランティア活動をやめたかったのは、もっと辛い人がいるのにやめるわけにはいかないと考えたからだそうです。

避難施設で必要とする物がなかった時は、もっと大変だったそうです。知人にメールしたり、インターネットで呼びかけて、ようやく集めて施設に送ったこともありました。集まった支援物資の中に、たくさん「がんばって下さい」のメッセージが入っていたことが強く思い出に残っているそうです。おばさんは、「何かお手伝いをしなければ。」と、思ってボランティアを始めたのですが、それは、自分一人ではとうていできない、みんなの力があって、みんなが力を合わせて、困っている人を助けることができるんだ、ボランティアとは心のつながりなんだ、と感じたそうです。そして、そういうことを実感できる機会にめぐまれて良かったと感じを言っていました。その言葉を聞いて、私はボランティアの意味がわかったような気がしました。

おばさんにとって復興とは、住む家や道路、電気、水道などがもと通りになることは

もちろんですが、そこにくらす人達が、いつまでも支援にたよらずに、自分の力で生きて行くための仕事や方法を見つける事だとわたしに教えてくれました。おばさんは、フリーの一級建築士です。ボランティア活動をしながら本業でも復興活動に取り組んでいます。

わたしの両親は、わたしに、将来社会貢献度の高い職業につきなさいとよく言います。そのために、たくさん勉強や努力をして、自分だけではなく、多くの人達を幸せにできるようなってほしいそうです。最初はよく分からなかったけれど、おばさんの話を聞いて、両親のその言葉も分かったような気がしました。今、わたしにできる、ボランティア活動、今までしてきた活動は、もしかしたら、ボランティアとは言えないほど小さなことがかもしれませんが、でも、これから、中学生、高校生、大学生、そして社会人になり、できることがどんどんふえていくはずだと。

わたしのまわりのできるだけたくさんの方の幸せのために、その時できるボランティア活動を積極的に行いたいと思います。

【最優秀】

「私たちにできること」

道仏中三年 平島 峻登



私の周りでは、多くのお年寄りの方々が、楽しそうに話したり、散歩したりして、ごく普通に生活しています。私の住んでいる地区では子どもが少なく、日頃よく出会うのは、そんなお年寄りの方たちです。元気そうなお年寄りがとても多いのですが、時には、元気でいながら、時に見かけることもありません。私は何かにつけて、お年寄りの人達に、大丈夫ですかと声をかけてあげたいけれど、なかなかそれができません。身内だとできることなのに、いざとなると声をかけようかどうか迷ってしまつたのです。そんな時は「迷わず声をかけるんだ」と、勇気のない自分を責めてしまいます。

私の祖父母や親せきの人

たちは、ここ数年でめっきり年をとったように感じます。前より元気がなくなったり、立ち上がったりのことが遅くなってきたり。自分がその分成長しているからかもしれないが、少し心配です。小さい頃によく遊んでくれた人の元気がなくなっていくのは、やはり寂しいです。「今度は元気を出してもらうために何をしようかな」私の頭の中で、いろいろと考えられるようになり、親せきの人への気持ちが変わらずに変化していることに気づきました。

人間、だれでも年をとります。多少の個人差はあっても、あちらこちらが弱ったり、病気ににかかったり、体が不自由になってきます。

以前、老人ホームを訪ねた時は、動きがぎこちない人、あまりしゃべることができない人など、様々な人がいました。誰しも年を重ねたら、他人の何かしらの手助けなしではやっていけなくなるでしょう。高齢者は、若い時から一生懸命に働いて、この階上町やこの日本のために力を尽くしてくれた人た

ちです。自分を含めた若い世代や親の世代の人たちは、高齢の人たちが安心して生活することができるよう、どういふことが必要なのかを考えなければならぬと思います。お年寄りの気持ちを尊重し、支え合い、助け合うためには、何よりも「想像力」が大切なのだ、私は考えます。

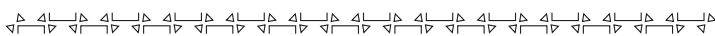
私の母は介護福祉の仕事をしているため毎日のようにお年寄りの方と関わっています。朝早い時や夜勤など大変ですが、いつも楽しそうに職場に向かいます。理由を聞いてみると、「大変だけれど楽しい会話ができるから」と笑顔で答えてくれました。私は何度か母の職場を訪ねたことがありますが、本当に楽しそうに会話をしたり、介護の仕事を楽しんでいるようでした。それでも介護の仕事には言葉に言われないう苦勞もあるようです。体や心の疲れは家族と過ごす時間の中で癒やし、グループホームの方々のために日々頑張っている母の姿がそこにあります。

私が母の苦勞を想像できるようにになったのは、去年職

場体験であるグループホームの介護福祉の体験をした

ことがきっかけでした。体験中はわからないことが多く、その上毎日体験する担当の場所が変わり、迷惑をたくさんかけてしまいました。そんな介護の苦勞を肌で感じた上で、やはり楽しかったのは、それぞれの場所でのたくさんの方々との楽しい会話でした。わからないことはわからないことではわかっていく、コミュニケーションがうまくいけば、活動がやりがいへとつながることがわかりました。

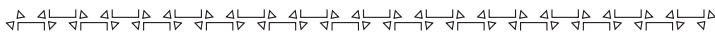
お年寄りの方との関わり、介護などを考えるということとは特別なことではないと思います。接する人に関心を寄せ、自分から歩み寄ること。相手の方にその思いが通じれば、きっとよい関係を築くことができる、信じています。これからの私は迷わず声をかけるでしょう、笑顔とともに、「大丈夫ですか」と、勇気をもつて。



年末年越し給食サービスもご利用ませんか ～おせち料理をお届けいたします～

社協では、下記のとおり年末年越し給食サービスを実施します。利用ご希望の方はお気軽に社協までご連絡ください。

- | | |
|--------|---|
| □期 日 | 平成27年12月31日(木) |
| □配達時間 | 午後1時～3時 |
| □利 用 料 | 無料 |
| □対 象 者 | 町内在住で75歳以上のひとり暮らし高齢者
・平成27年12月31日までに75歳に達する方
・大晦日をご家族、ご親戚等と過ごされる方は除きます。 |
| □申込方法 | 氏名、住所、年齢、電話番号を12月18日(金)までに社会福祉協議会まで電話でお申し込みください。 |
| □申 込 先 | 階上町社会福祉協議会 電話88-3067 |
- ※年末年越し給食サービスは、赤い羽根共同募金の配分を受けて実施します。



配達ボランティアを募集します

社協で実施する年末年越し給食サービスに関わる、配達(運転)ボランティアを下記のとおり募集いたします。

- | | |
|--------|---|
| □期 日 | 平成27年12月31日(木) |
| □活動時間 | 午後1時～3時(集合時間 12時20分) |
| □集合場所 | ハートフルプラザ・はしかみ |
| □内 容 | 75歳以上のひとり暮らし高齢者のお宅へおせち料理の配達
・配達は自家用車となります。
階上町内5件～10件程度 |
| □配達範囲 | 5名程度 |
| □募集人数 | 12月18日(金) |
| □申込期限 | ・車両燃料は自己負担となります。
・ボランティア活動保険は本会で加入いたします。 |
| □そ の 他 | 階上町社会福祉協議会
電話88-3067 |
| □申 込 先 | |

